

川上ダム通信



2022

1

月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



Vol. 197
Since 2005



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中！

https://twitter.com/jwa_kawakami

ご意見・ご感想はこちらへ

[e-mail:somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)



新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。平素より川上ダム建設事業に対し、ご理解、ご協力賜りまして御礼申し上げます。

川上ダムは、昭和56年から実施計画調査に着手し、約40年を経て、令和3年12月16日には試験湛水を開始しました。

川上ダムの建設工事は本体工事を平成29年に着工し、令和元年9月からはダムのコンクリートの打設を開始、令和3年4月20日には約45.5万 m^3 の堤体コンクリート打設が完了しました。その後は、ダムの水を下流に流すためのゲート整備やそれをコントロールするためのダム制御設備の整備、ダムからの放流をお知らせする警報設備など、管理に必要な設備整備を順次進めてきました。また、ダムの右岸側には管理棟の建設も完了しています。



右から津久井所長、花田副所長（事務）、松村副所長（技術）

現在はダム本体工事のために削坑した仮排水路トンネルの閉塞工事やダムの左右岸の整備工事、管理用の発電設備工事などを鋭意進めているところです。

試験湛水はダムに初めて水を貯めることでダム堤体や貯水池周辺地山などの安全性を確認するものですが、引き続き、安全で確実な試験湛水の完了を目指していきます。

また、これまで開放していましたがダムサイト右岸側にある展望台「WELCOME川上ダム^{みてちょうだい}観眺台」については、ダム左右岸の整備工事のため、令和3年11月12日をもって撤去しました。ダムの左右岸の整備工事は今年夏頃までかかる予定となっていますが、完成後はダムが一望出来る広場となりますので、より多くの皆さんがダムへ来訪していただけることを願っております。

川上ダムは下流の洪水被害軽減や水道用水の供給、河川環境の維持などを目的として令和5年度から管理運用を目指しておりますが、この他にもダムを観光資源の一つとして地域の活性化に活用されるように地域の皆様方と連携し、魅力あるダムづくりを目指したいと思います。

職員手作りの「川上ダム通信」は引き続き、地元の話や試験湛水の進捗状況など様々な話題を取り上げて発信をしていきます。

最後になりますが、新型コロナの感染者が落ち着いている状況にありますが一日も早く通常の日常生活に戻ることを願っております。また、今年一年の皆さま方のご多幸とご健勝を祈念しますとともに引き続き川上ダム建設事業につきまして、格別のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【所長 津久井正明】

祝 川上ダム試験湛水開始！

川上ダムでは令和3年12月16日（木）より、ダム建設の最終段階である試験湛水を開始しました。試験湛水とは、ダムの本格運用開始に向けて、水を貯められる最高水位まで貯水位を上昇させ、その後確認が必要な貯水位まで降下させることにより、ダム堤体や貯水池周辺地山などの安全性を確認するものです。

ダムを建設するために前深瀬川の水を迂回させていた仮排水路トンネルの呑口を、幅、高さそれぞれ約5m、重さ約17tのゲートで閉塞することでダムへの貯水がスタートしました。今後は河川に必要な水を放流しながら試験湛水を進め、令和5年4月からのダム本格運用を目指していきます。

ダム建設に関係する皆さまのご協力により、無事に試験湛水開始を迎えることができました。改めて感謝申し上げます。

川上ダム本体工事の経過

平成30年4月 仮排水路トンネル転流開始

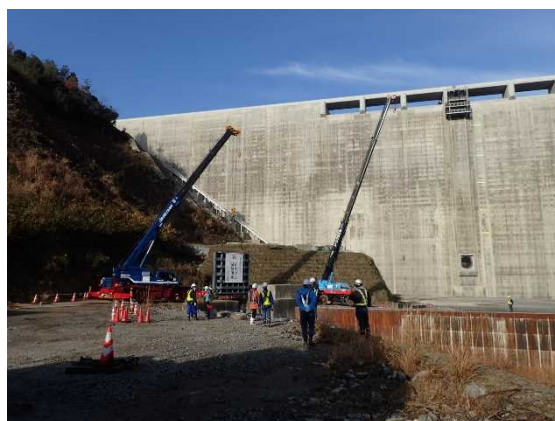
9月 本体基礎掘削開始

平成31年3月 本体基礎掘削完了

令和元年9月 堤体コンクリート打設開始

令和3年4月 堤体コンクリート打設完了

令和3年12月 試験湛水開始



仮排水路トンネル閉塞前全景



①仮排水路トンネル閉塞前



②所長による閉塞の合図



③閉塞作業中



④仮排水路トンネル閉塞後

【工務課長 渡辺聡嗣】

岡本市長が視察にいらっしゃいました

令和3年12月3日（金）に岡本伊賀市長、大森副市長はじめ伊賀市担当部局の皆さまが川上ダム建設事業の現場視察に訪れました。岡本市長の川上ダム視察は今回で3回目となり、試験湛水前としては最後の視察となりました。この視察では、ダム天端そしてダム底となる「直上流ヤード」などを実際にご覧になり、終始熱心に機構職員の説明に耳を傾けておられました。

川上ダムの目的として、ダム完成後は、水道用水として伊賀市に水を供給するとともに、台風や大雨などによる洪水被害を軽減する役割などがあります。川上ダムでは、試験湛水を安全に行い、令和4年度の事業完成に向け着実に取り組んでまいります。



左から4番目が岡本伊賀市長、3番目が大森副市長、5番目が山本建設部長

【総務課長 荒木佐知】

川上ダム試験湛水前特別見学会を終えて

令和3年11月14日（日）に行われた特別見学会は480人の定員に対し、約1500人が応募され、そのうち約1000人が伊賀市、名張市在住の方でした！沢山のご応募ありがとうございました。地元の方に愛されるダムを目指し、これからもイベントの企画等広報活動を積極的に行っていきたいと考えています。

また、特別見学会で販売したダムグッズも「いっぷくしてだぁ〜こ」で販売中です。数量に限りがありますので、早めの購入をお勧めします。当建設所ではダムグッズを展示中です。

【展示中のダムグッズ】 →

Tシャツ、トートバック、コア台、コースター、マグカップ、手ぬぐい

【販売場所】

いっぷくしてだぁ〜こ

住所：伊賀市阿保 798 番地 電話：090-4795-8868（大田さま）

新年の営業は令和4年1月12日（水）からの予定です。



【経理課 脇本 瞳】

オオサンショウウオの移転が終了しました

川上ダム建設に当たり、特別天然記念物であるオオサンショウウオの保護のため、これまで堤体区域や湛水区域に生息している個体の移転調査を実施して来ましたが、試験湛水前の移転調査が終了しましたのでご報告します。

調査を開始した堤体区域河床掘削以前の平成28年以降、工事に伴う改変箇所の調査や、湛水範囲における目視やトラップを利用した調査を毎年行い、確認された個体を上流域へ移転してきました。平成28年度は226個体が確認されましたが、順調に移転が行われた結果、近年では確認される個体数が少なくなり、移転総数は約560個体となりました。

移転については、上流河川的环境調査を踏まえて計画的に配分し、また、人工巣穴や遡上路の設置を行うなど、生息環境の改善にも取り組んでいます。

移転は終了しましたが、今後は上流域のモニタリング調査を実施し、オオサンショウウオを見守っていききたいと思います。



転流直後の堤体区域の調査
(平成30年4月)



湛水域の夜間調査



保護したオオサンショウウオ

【環境課 戒谷大和】

速報

試験湛水が始まりました。

ライブ映像がこちらから見られます。

<https://kawakamidam-cam.arksystem.jp/>



編集後記

明けましておめでとうございます。

去年12月には試験湛水が開始され、ダム堤体や貯水池周辺地山などの安全性を確認する作業が始まりました。そのため、筆者は「むしろ今からがダム建設の本番ではないか」とこれからの一年、気が引き締まる思いです。読者の皆さまは、どのような思いをもって新しい年を迎えられたでしょうか。

今年も川上ダム通信をお届けしますので、是非ご一読ください。

【広報誌発行事務局】

編集長 津久井（所長）

デスク 荒木（総務課長）

記者 奥野（総務課）

高橋（機械課）

渡辺（工務課長）

北爪（調査設計課）

山田（工務課）

近藤（用地課）

山下（工事課）